

■オフィシャルグッズ企画・製作・販売業務事業者 評価基準■

評価項目	評価の着眼点	配点	備考
大会らしさ・オフィシャルグッズとしての魅力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横浜マラソンのオフィシャルグッズとして、直感的に大会の世界観やイメージが伝わるか ○ 記念品としての価値や魅力があるか ○ オフィシャルグッズとしての品格や独自性が感じられるか 	×3	
使われる・欲しくなる商品構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ ランナーや来場者が、実際の使用シーン(大会当日・練習・日常)をイメージできる商品であるか ○ 商品ラインナップや価格帯が現実的で、購入しやすい構成となっているか ○ 大会後も継続して使用されることが期待できる商品であるか 	×3	
企画全体の分かりやすさ・完成度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提案書を通じて、商品内容や企画の狙いが直感的に理解できるか ○ 提案内容が整理されており、全体像が把握しやすい構成となっているか ○ オフィシャルグッズ企画としての完成度が感じられるか 	×2	
実施体制及び実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画・製作・販売に関する体制が明確で、現実的に実施可能と判断できるか ○ 納期や品質、販売方法について、大会運営上の大きな懸念がないか ○ 本業務と近い実績があり、再現性が見込めるか 	×1	
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横浜市内の事業者(5点) ○ 神奈川県内の事業者(3点) ○ 神奈川県外の事業者(1点) <p>(共同提案の場合は幹事者が横浜市内である場合のみ対象)</p>	×1	応募書類により自動加点

■評価の基準■

(1)評価の視点

評価の基準に基づき、5段階で評価します。

配点	評価の基準
5点	特に優れている
4点	優れている
3点	標準的
2点	やや劣っている
1点	劣っている

(2)全体の配点と合計点

評価委員は5人とし、1人あたりの持ち点は45点(地域貢献は自動加点)として、250点満点で実施します。

評価合計が150点未満の場合は、最多得点であったとしても受託候補者とすることはできません。

評価項目	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	合計
大会らしさ・オフィシャルグッズとしての魅力	15	15	15	15	15	75
使われる・欲しくなる商品構成	15	15	15	15	15	75
企画全体の分かりやすさ・完成度	10	10	10	10	10	50
実施体制および実現可能性	5	5	5	5	5	25
地域貢献	5	5	5	5	5	25
評価合計	50	50	50	50	50	250